

2025年(令和7年)
8月1日 金曜日
第1985号

京都自動車新聞



京ト協 新体制後初の理事会
整備業関連の規制が7月大幅改定
部品商組合が第1回研修例会
新着カー用品レポート7月号
◀ 京車協青年部会 30回記念総会

発行所 京都自動車新聞社 京都市伏見区竹田向代町 51-5 (京都自動車会館内) 電話 (075) 672-0552 ファクス (075) 682-0205 メール access@kyotojidoshanp.jp https://kyotojidoshanp.jp

ディーラー新時代⑥

原点回帰で構造変化に対応

燃料の高騰、ドライバー不足、物価高、そして「2024年問題」。運送業界は常に物流危機と隣り合わせにある。「ディーラーはいまや単なる販売にとどまらない。お客さまに寄り添うコンサルテーションこそが使命」と方向付けるのは、今年4月にいすゞ自動車近畿の社長に就任した齊藤博氏だ。自身、メーカーでコネクテッド戦略部や商用モビリティ推進部など主要セクションを渡り歩いてきた。全国で初めて地域統合型販社体制を成功させたいすゞ近畿を、持ち前の視野の広さでどう導くか。同氏に話を聞いた。

いすゞ近畿 齊藤博社長が思い語る

「一販社に求められる(定額)のメンテリースラック「エルフミオ」が特に大型カーゴで人気だ。3カ月点検や1年車検を事前予約することで、整備双方のハンドリングの負担が軽減される。つまり、こうした管理業務に割いている人と時間を他に振り向けられる。故障整備もメニューに含まれるため、追加料金も不要だ。かつてメンテリーストと言えば、予防整備で高くつくイメージだったが、今は定額制。月25万円レベルの車両費なら経費として決して高くないはず」

「もう一つは、商用車の稼働をなるべく止めないような迅速なメンテナンスタ。当社のラインアップには2018年以降、コネクテッドが導入され、バッテリー寿命やDPF(ディーゼル微粒子捕集フィルター)の状況もモニタリングでき、これを工場側でも把握しながら、部品の待ち時間を合理的なメンテナンスを手掛けていきたい。30年にはある程度コネクテッドカーに置き換わる」とみている。

「サービス面では、メンテナンスリースに力を入れる」「サブスクリプション



新たなディーラー像を示す齊藤社長

は5300台。毎年シェアは3%ほど伸びていることを踏まえると、整備ネットワークの充実が必須になる。一昨年に綾部支店、住之江支店を開設したが、「ハコ」はあってもエンジンや営業が安全で快適に働ける職場でなければ業務品質が向上しない。その一環で、6月に全拠点で空調を完備した。とりわけ遠隔地では、いすゞのIDS診断キットを配備し、各サービスセンターと同等の整備が行える協力店とも手を携えていく。

「また、UDトラックスとの国内販売機能の統合についても検討段階に入っている。もともと近畿エリアには協働志向が根強いし、必ずお客さまにとっての利便性向上につながるはずだ」

「近畿エリアのビジョンとして描くもの」

「6月の貨物自動車運送事業法の改正で、運送事業許可の5年ごとの更新、適正運賃の收受、多重下請け構造の是正、「白トラ」の禁止などが定められたことにより、業界の形自体が変わって、業界の形自体が変わっていき、思われる。運送業のグループ化や系列化などが起これば、荷物も増減し、変化が起きる。だからこそ、原点に立ち返って、お客さまの要望に沿った完成車の供給を強化し、それがE

V(電気自動車)であれば、車を売る概念にとらわれず、充電器パックであるとか、コネクテッドとメンテリース、電力の相談まで手広く対応していく。変化するニーズを可能な限り研究し、三現主義(現場、現物、現実を重視する考え方)のもと、商品にフィードバックするとともに「近畿流」に最適化し、地域に寄り添っていく」

「E-Vに対する見解」

「運行経路が決まっている路線バスなどは相性が良いし、まず広がるのはこの分野だろう。つまり、夜中に充電できるというのがポイントだ。当社にもE-Vバスを専門に手掛けるメンバーもいて、定期的にE-Vメーカーの動向などを注視している。一方、小型トラックでも長い距離を走らず、夜間は稼働しないルート配送、宅配などはマッチするとみている」

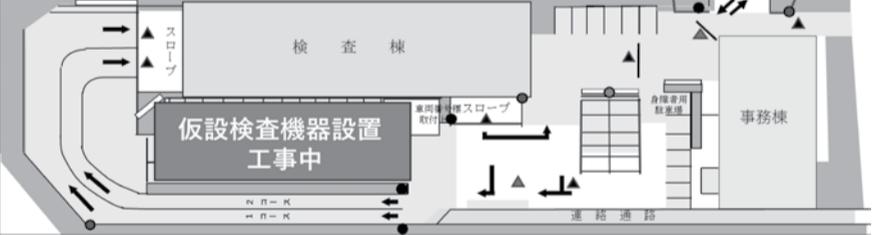
大黒商会 オートビジネスフェア開催決定

(株)大黒商会(井上雅文社長)が主催する自動車機械工器具展示会「オートビジネスフェアKYOTO2025」の開催が決定した。京都での開催は2年連続。会場は、京都パルスプラザ大展示場(伏見区)。9月5、6日の2日間わたって行われる。

当日は、最新の自動車整備機器や工器具が展示されるほか、デモンストレーション、無料セミナー、輸入車展示なども企画している。開催時間は、5日が午後1時から午後8時まで、6日が午前9時30分から午後4時までとなる。

軽検協の仮設コース設置工事始まる 検査機器改修に伴い

軽自動車検査協会京都事務所の検査機器の改修・更新に伴い、同期間中に代替稼働させる仮設コースの設置工事が7月22日始まった。同事務所は来年3月中旬ごろにかけて、検査棟にある2本の検査コースのうち1レーンずつ閉鎖し、機器の改修にあたる。この間、予備待機レーンに特設した仮設コースで検査を実施し、現状の業務量を維持する計画。



仮設コース設置工事は9月中旬までで、2コースの改修・更新は9月中旬から11月下旬まで、1コースは11月下旬から来年1月下旬まで。

同事務所は「工期はあくまで現段階での予定であって、進捗よく状況によって前後すると思われる。ご利用の皆さまにはご迷惑をお掛けするが、ご理解・ご協力いただきたい」としている。

*「追跡データベース」一日銀京都支店編」休みました。

8月11日は休ませていただきます。21日号から通常通り発行致します。

京都自動車新聞社

オートビジネスフェア KYOTO 2025

2025 9/5 13:00-20:00 金

2025 9/6 9:30-16:00 土

京都パルスプラザ - 大展示場 - 京都市伏見区竹田鳥羽殿町 5

株式会社大黒商会 075-311-0141

デモンストレーション・セミナー実施
カーディティリング関連商品の展示
スキャンツールの特設コーナー設置
特価商品を多数ご用意 輸入車展示

出展品目 特定整備(エーミング・スキャンツール) 関連機器 車検機器 ガレージ機器
ハンドツール 自営業システム 補修部品
カーディティリングサービス 各種ケミカル